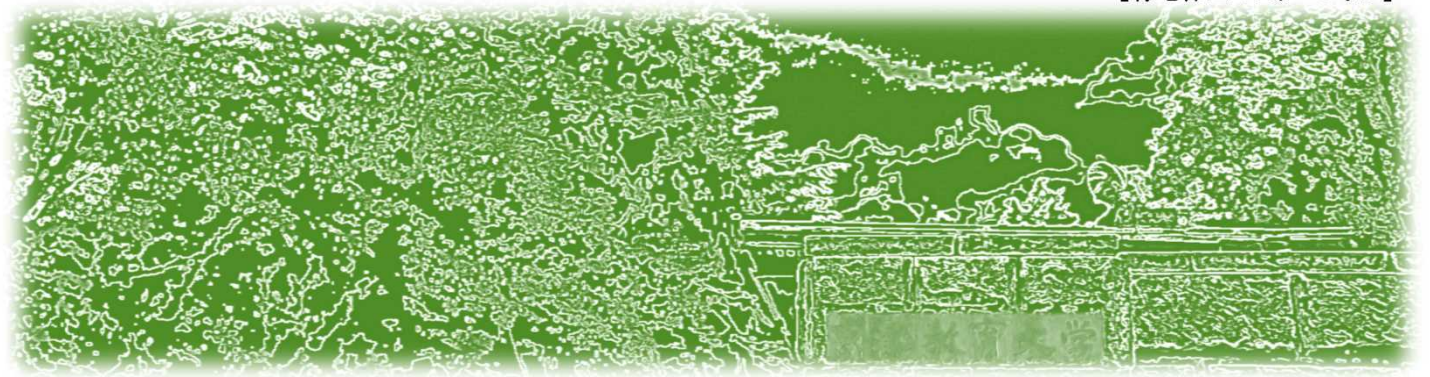




# キャンパスマスタープラン

C A M P U S M A S T E R P L A N

【緑地保全マスタープラン】



## 緑地保全計画

## 緑地保全計画の位置づけと概要

藤森キャンパスは、深草丘陵西側の緩傾斜原（深草野と呼ばれる砂礫層）に位置し、敷地面積140,724㎡、構内標高差約12mで東高西低のなだらかな斜面である。ここは、第二次世界大戦終了までは軍用地で歩兵第九聯隊の営舎があった。戦後、合衆国駐留軍に接收された後、昭和32年に本学の前身の京都学芸大学が当地に移転し現在に至っている。学内に見られるクスノキやイチヨウなどの大木は戦前からの樹木と思われるが、その他にも多くの樹木が繁茂し、緑豊かな構内となっている。また、越後屋敷地区にある第二学舎は、学生寮・国際交流会館・環境教育実践センターからなる静かなキャンパスである。ここもかつては軍用地であり、第十六師団輜重部隊跡地とされている。現在は、環境教育実践センターの農場（栽培学習園）や森（樹木見本園・環境共生園）などが広がる緑豊かな環境にある。

大学構内に生育する多様な植物は、場所の環境に応じた植物を形成していることから、教育・研究の対象として利用されるのみならず、学生・教職員の諸活動の背景として大学環境の中核となる重要なものである。これらは、本学に在籍した教職員の一方ならぬ努力により、植栽及び保全が続けられた結果の賜物である。我々はこの宝を受け継ぎ、次代に渡していかなければならない。そのための指針として、大学の緑を調和のとれた一つの景観としてまとめ、樹木の将来像を視野に入れた京都教育大学緑地保全計画を設ける。

## 基本方針

## ●緑地環境の位置づけ

・京都教育大学の緑地環境は、本学全構成員の生活・教育環境の中核であり、個々の樹木が本来持つ自然な樹形を可能な限り尊重しつつ、構内全域が有機的に連関したひとつの森として機能するよう保全されている。また本緑地環境は上記のような学内的意義の達成を通じて、隣接社寺等とともに、移り変わる地域景観の歴史的連続性を保証する公共的な自然－文化的景観の形成を目指すものである。

## ●緑地環境の維持管理

・個々の樹木が本来持つ自然な樹形を尊重しつつ、自然の美しさと快適さを保つ。  
・手入れは「透かし」をもって行うことを原則とし、生垣や植え込みに関しても「刈り込み」は極力避ける。  
・下草に関しても一律な刈り取りは行わず、それぞれの場所の必要性に応じて対応する。  
・交通、照明等への支障を回避するための伐採や整枝は樹木等の保全を優先し、実施する場合も必要最小限にとどめるよう充分に配慮する。  
・枯れ枝やバランスを失った樹木に関しては、その落下や倒木に先んじて対応する。  
・樹木下等の道路外の落葉類は、原則としてその場の土に還す。  
・長期的な観点から、建物に近接する等の支障が危惧される樹木は、景観や機能を損なわないように適した樹種に置き替えていく。  
・将来像を保証する策として、次の代の苗木を育成し準備しておく。

## ●管理組織

・問題に関する判断は企画調整室の所掌とする。  
・企画調整室に緑地保全計画専門委員会を置き、専門的知識を持つ教職員を委員として当てる。  
・剪定、伐採、施工等に関しては企画調整室の緑地計画専門委員会で審議し、企画調整室の判断のもと施設課が実施する。

## 緑の方針総論

京都教育大学キャンパス内の緑環境の今後の維持管理及び整備について、全ブロックに共通して指摘できる問題点をまとめる。明確な展望のもとに、およそ20年にわたって極端な切り戻しや刈り込みを避ける管理を優先してきた結果、構内の樹木は、ようやく以前の伸びやかな姿をとり戻しはじめ、隣接する藤森神社の社寺林とともに一帯の緑地環境と歴史的景観の中核を担うに相応しい姿を形成しつつある。しかしながら現在では、高木化した樹木の枯枝落下のリスクが高まっていることから、樹木の維持管理においては、通路の確保等と並んで枯枝の除去が優先されるべき課題となっている。

また構内のいくつかの箇所に対策を要する薄暗い藪が繁茂しているが、その原因の大半はシュロ、トウネズミモチ、クズ（ところによりクズ以外のツル植物）の過剰な繁殖にある。これらの植物は非常に繁殖力旺盛で強健であるため、基本的には除伐及び抜根の対象にするのが適当ではないかと考えられる。（根絶してもいずれ必ず生えてくる。）

また次代の苗を育成する観点から、新たな植栽を適切に行う必要がある。植栽はなるべく現存するものや鳥散布等によって新しく持ち込まれる実生を活かし、高木となる樹種は一部のものを除いて避け、場所の特性に応じて、季節感にあふれ教育の場にふさわしい樹種を選択する。それゆえ構内全ブロックを通した樹木の維持管理及び整備の基本方針としては、これまで通り不用な切り戻しや刈り込みを避けつつ、上に指摘した枯れ枝の除去、シュロ、トウネズミモチ、クズ等の除伐及び場抜根といった管理業務を重視するものとする。これに適切な草刈り、通路の落ち葉掃きといった日常的な業務を組み合わせるだけで、本キャンパスの緑環境は著しく向上するだろう。加えて将来を見据えた植栽事業を通じて、本学が周辺の緑地環境及び歴史的景観の骨格を形づくり、この遺産を超長期的な展望にもとづいて保全していくことを緑の方針とする。

以下では植樹の方針と、各ブロックごとの現状と課題を記す。

## 各種事業全体計画

各種事業を中長期的による全体計画として、以下の内容で樹木の維持管理及び整備を事業予算を確保しながら植栽事業を進める。

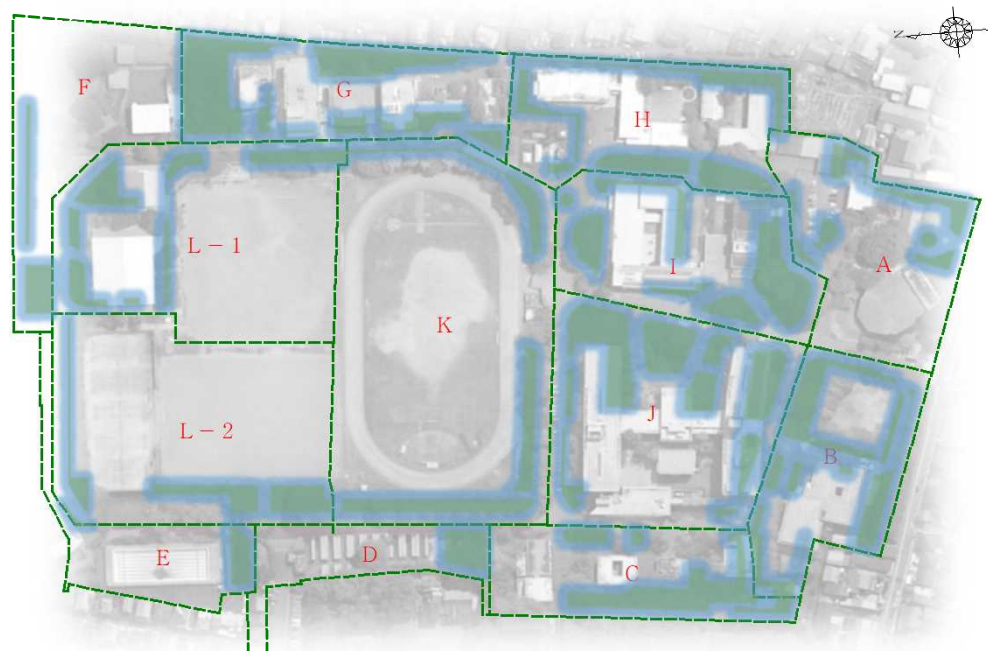
- ・高木枯枝剪定事業・・・毎年実施。
- ・高木枯木伐採事業・・・ヒマラヤスギ、クスノキ、チャンチンモドキ等の高木枯木の伐採。
- ・干涉樹木剪定事業・・・空調室外機、外灯などの施設設備に影響を及ぼす樹木の剪定。（干涉樹木の整理計画による）
- ・不要樹木伐採事業・・・シュロ、トウネズミモチ、クズ等の除伐。
- ・想定高木移植事業・・・図書館横カツラ等、将来建物に影響する樹木の移植。
- ・樹木苗・花苗植付事業・・・毎年実施。
- ・生け垣剪定事業・・・毎年実施。



## 緑地の現状と課題(ブロック案内)

### ブロック案内

ブロックとは藤森団地の土地を建物や教育研究施設等のエリアで区切り分類したものである。



### 植樹の方針について(新規植栽計画)

#### 〈現 存 樹 種〉

現存する高木には、メタセコイア、ケヤキ、イチョウ、ヒマラヤスギ、チャンチンモドキ、トウカエデ、イロハカエデ、ゲッケイジュ、アオギリ、ヤマザクラ、クロマツ、リギダマツ、ダイオウショウ、シナサワグルミ、フウ、シダレヤナギ、カンレンボク、クヌギ、クスノキ、センダン、ムクノキ、エノキ、アラカシ、ハリエンジュ、シンジュなどがある。

#### 〈場 所〉

1. 東側民家との境界付近  
目隠しや防音の観点から、その効果の高い樹種を選択する。また、無用なトラブルを避けるため、枝や落ち葉による被害を最小限に抑えることも重要なポイントとなる。
2. 西門駐輪場西側の藤森神社との境界付近  
大木となる樹種は避け、神社との一体感を損なわないようにする。
3. プール西側の民家との境界付近  
プール使用時の防音効果も期待したい。団地の東側境界部分と同様に、枝や落ち葉による被害を最小限に抑えることも重要である。
4. 各ブロック(整備に伴う植栽)  
各ブロックやゾーンの具体的な整備段階で、その都度、場所や樹種を検討することが望ましい。

### 候補樹種リスト(苗木移植計画)



カワヅザクラ【A,B,J,Kなど】



チョウシュウザクラ【Iなど】



サトザクラ【I,Jなど】



イヌマキ【周辺民家との境界】



ロウバイ【周辺民家との境界】  
(本部棟南側で苗木を育成中)



コブシ【周辺民家との境界】

緑地の現状と課題(A-1ブロック)

Aブロック

緑の現状と課題

本ブロック中央にはクスノキの大木が枝を広げ、また南側の境界近くにはケヤキの大木が並ぶ。教育資料館周辺や講堂の北側に  
は多数の有用樹木が植栽されている。一方、講堂の南側は植栽樹と雑木が入り混じり、混沌とした状況である。



**11 ヤマボウシ**  
「山法師、山帽子」ミズキ科 落葉樹  
花は6-7月 淡黄色 果実は集合果



**12 アケビ**  
「木通、通草」アケビ科 蔓性落葉樹  
花は4-5月 淡紫色 他物に巻き付く



**13 ギンモクセイ**  
「銀木犀」別名「モクセイ」モクセイ科  
常緑樹 花は9-10月 白色 芳香



**08 アメリカヤマボウシ**  
別名「ハナミズキ」ミズキ科 落葉樹  
花は4-5月 白色・桃色 秋は紅葉



**09 カンレンボク**  
「早蓮木」別名「喜寿」ミズキ科  
落葉樹 花は夏季 淡白色



**10 クスノキ**  
「榊」クスノキ科 常緑樹  
花は5-6月 白淡黄緑色 果は黒紫色



**01 カキノキ**  
「柿の木」カキノキ科 落葉樹  
花は5-6月 白黄色 果実は秋



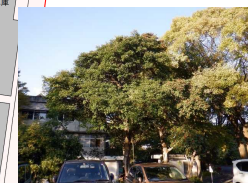
**02 ヤマボウシ**  
「山法師、山帽子」ミズキ科 落葉樹  
花は6-7月 淡黄色 果実は集合果



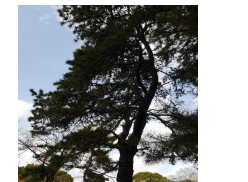
**03 サザンカ**  
「山茶花」ツバキ科 常緑広葉樹  
花は寒い時期 赤色



**04 ウメ**  
「梅」バラ科 落葉樹  
花は2-4月 白または桃色から赤



**05 クロガネモチ**  
「黒鋼鏡」モチノキ科 常緑樹  
花は5-6月 淡紫色 果実は球形で赤



**06 クロマツ**  
「黒松」別名「雄松」マツ科 常緑樹  
針葉は二葉 樹皮は灰黒色



**07 リギダマツ**  
マツ科 常緑樹  
日本では見られない三針葉の一種

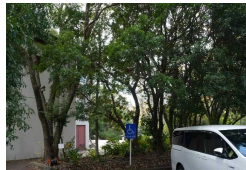


緑地の現状と課題(A-2ブロック)

Aブロック

緑の現状と課題

本ブロック中央にはクスノキの大木が枝を広げ、また南側の境界近くにはケヤキの大木が並ぶ。教育資料館周辺や講堂の北側には多数の有用樹木が植栽されている。一方、講堂の南側は植栽樹と雑木が入り混じり、混沌とした状況である。



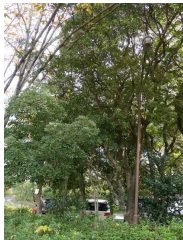
**25 ヤマモモ**  
「山桃」別名「山桜桃」 ヤマモモ科  
常緑樹 花は3-4月桃色 果は黒赤色



**21 モクレン**  
「木蓮」別名「紫木蓮」 モクレン科  
落葉樹 花は4-5月 紅色 芳香強



**26 トデノキ**  
「板の木」 ムクロジ科 落葉広葉樹  
花は5-6月 穂状目立つ 白~薄紅色



**23 ムクロジ**  
「無患子」 ムクロジ科 落葉樹  
花穂はほとんど雄花 果は液果様 球状



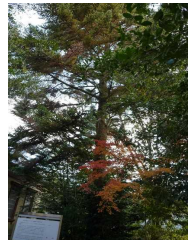
**28 チャボヒバ**  
「矮鶏檜葉」 ヒノキ科 常緑針葉樹  
枝葉が短く密生し階段状 成長が遅い



**24 ヒイラギモクセイ**  
「稔木犀」 モクセイ科 常緑樹  
花は10月 葉腋に東生 芳香



**15 サカキ**  
「榊」 モッコク科 常緑樹  
花は6月 葉腋に小さい白色下向き



**18 オガタマノキ**  
「黄心樹」別名「トキワコブシ」  
モクレン科 常緑樹 花は芳香強

**16 モミ**  
「樅」 マツ科 常緑針葉樹  
葉は細くて固い針状 先端は二又鋭尖る



**19 タラヨウ**  
「多羅葉」モチノキ科 常緑樹  
花は4-5月 淡黄緑色 果は球形 赤



**17 クヌギ**  
「柵」 マツ科 落葉樹  
花は4-5月 雄花は黄色 雌花は赤色



**20 ケヤキ**  
「榎」別名「榎」ニレ科 落葉樹  
花は4-5月 葉が出る前に開花 紅葉

※ 22 ハマヒカサ, 27 イチイ は、枯損のため欠番



## 緑地の現状と課題(Bブロック)

### Bブロック

#### 緑の現状と課題

南側に並ぶケヤキの大木及び主要道路脇の植栽は、大勢の目に触れる重要な要素であるが、旧テニスコートの北・西側の茂みは鬱蒼とした状況である。枯死枝や雑木の除去等による安全性の確保と明るい雰囲気への整備が課題である。



**14 カリン**  
「花欄」バラ科 落葉樹  
花は3-5月 白色桃色 果は黄色 大



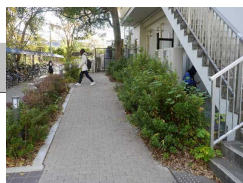
**15 レンギョウ**  
「連翹」別名「イチチハゼ」モクセイ科  
落葉広葉樹 花は3-4月黄色 繁殖盛



**16 ウバメガシ**  
「鈍目徑」別名「イマメガシ」ブナ科  
常緑樹 備長炭の原料として利用



**17 サツキツツジ**  
「草月御園」別名「エイサンコウ」ツツジ科 常緑樹 花は旧暦の5月一斉



**10 ドウダンツツジ**  
「灯台御園」ツツジ科 落葉広葉樹  
花は白色 紅葉は10-11月 真っ赤



**11 バンショウ**  
「芭蕉」バンショウ科 多年草  
花序は夏から秋 実バナナ状



**12 サルスベリ**  
「百日紅」ミソハギ科 落葉樹  
花は8月 濃淡白色 果は円いさく果



**13 トウオガタマ**  
「唐招霊」別名「カラタネオガタマ」モクレン科 常緑樹 花は5-6月 香強



**06 イヌエンジュ**  
「犬槐」別名「チクベニ」マメ科  
落葉樹 花は7-8月 黄白色



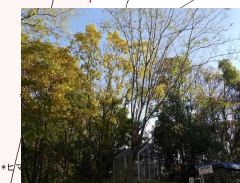
**01 ダイコンドラ**  
別名「ディコンドラ」ヒルガオ科  
匍匐性多年草 花は4-8月 ハート形



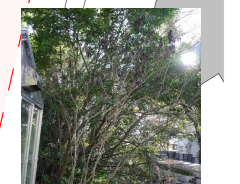
**03 メギ**  
「目木」別名「コトリマラス」メギ科  
落葉樹 花は4-5月 果は10-11月 赤



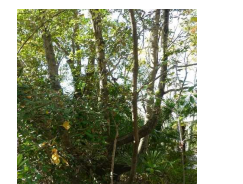
**04 カヤ**  
「榎」イチイ科 常緑針葉樹  
花は4-5月 果は翌年秋 紫褐色



**07 ネムノキ**  
「合歡木」別名「ネブ」マメ科 落葉樹  
淡紅色のおしべ長い 芳香は桃



**08 ハナズオウ**  
「花蘇芳」マメ科 落葉樹  
花は3-4月 紅色-赤紫色 果は黒褐

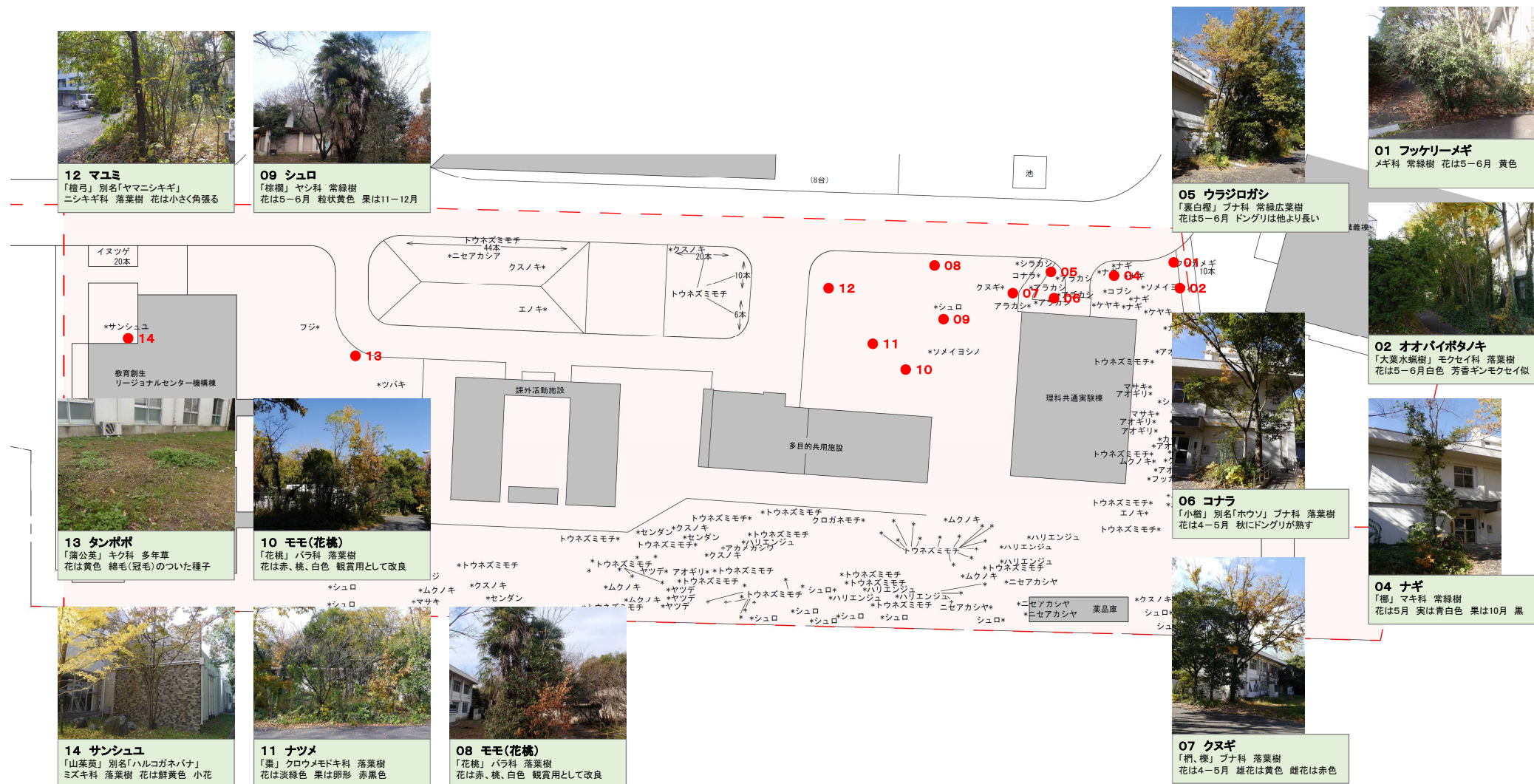


**05 タブノキ**  
「榎」別名「イヌグス」クスノキ科  
常緑樹 花は4-6月 黄緑色 果黒色

※ 02 コナラは、枯損のため欠番

## Cブロック

野外活動施設南側の盛り土上、及びその周囲に根付いた樹木についても計画的な整備が必要である。



※ 03 ムベは、枯損のため欠番

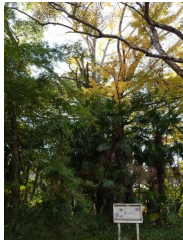
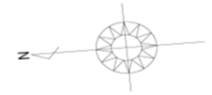


緑地の現状と課題(Dブロック)

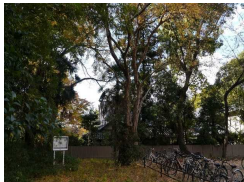
Dブロック

緑の現状と課題

本ブロック南端に集中する樹木群はイチョウの雄株、センダン、ムクノキ、トウカエデの大木が中心となり、その東側には数種の  
中低木が植栽されている。この一角の明るい雰囲気への転換が課題である。



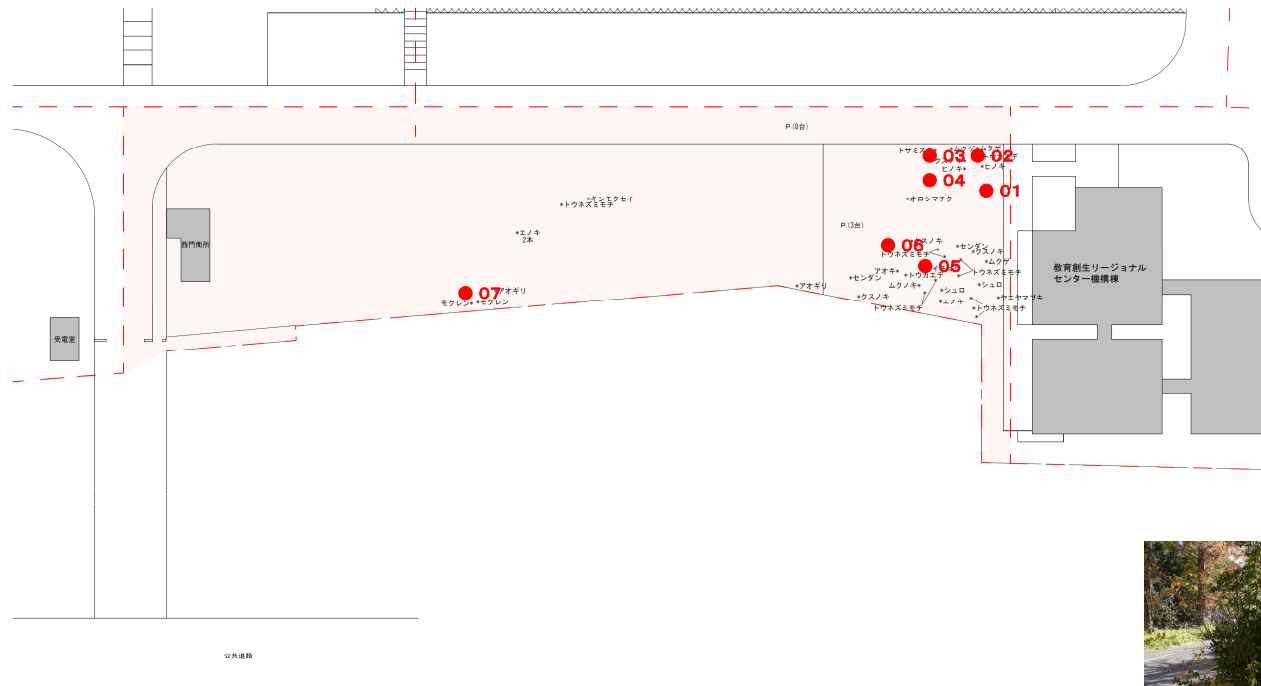
**05 イチョウ**  
「銀杏」イチョウ科 針葉樹  
花は4-5月 果は酸類特有の臭気



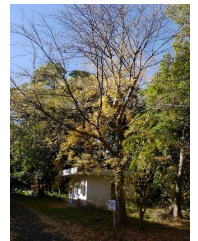
**06 トウカエデ**  
「唐楓」別名「サンカクカエデ」  
ムクロジ科 落葉樹 花淡黄色 紅葉



**07 モクレン**  
「木蓮」別名「紫木蓮」モクレン科  
落葉樹 花は4-5月 紅色 芳香強



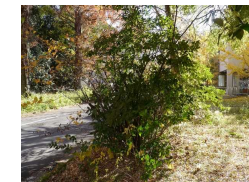
**01 ヒノキ**  
「榧」ヒノキ科 針葉樹  
葉裏気孔帯がY字状 春に花粉を飛散



**02 ムゲ**  
「木槿」別名「ハチス」アオイ科  
落葉樹 花は7-10月 白、紫、赤色



**03 トサミズキ**  
「土佐水木」マンサク科 落葉樹  
花は3-4月 淡黄色 葉より先に咲く



**04 アオキ**  
「青木」アオキ科 常緑樹  
花は3-5月 枝先褐色緑色 果は卵形

緑地の現状と課題(エブロック)

エブロック

緑の現状と課題

プールの南側にはウバメガシの垣根とシラカシ群(6本)が配置され、東側にはシャリンバイ、トベラ、ヒラドツツジの小低木が構内道路と境界を作っている。垣根に囲まれた一角の整備とプール西側の空き地の活用が課題である。



**13 カイズカイブキ**  
「貝塚伊吹」ヒノキ科 常緑針葉樹  
枝が巻き上がるように成育 排気ガス強



**14 ツバキ**  
「椿」ツバキ科 常緑樹  
花は11-4月 白・桃・赤色 葉は鋸歯



**15 ウバメガシ**  
「地目経」別名「イマメガシ」ブナ科  
常緑樹 備長炭の原料として利用



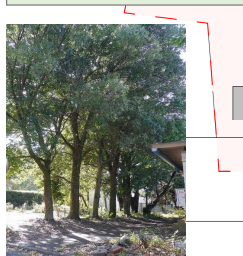
**09 シャリンバイ**  
「車輪梅」バラ科 常緑樹  
花は4-6月 白・淡紅色 果は黒紫色



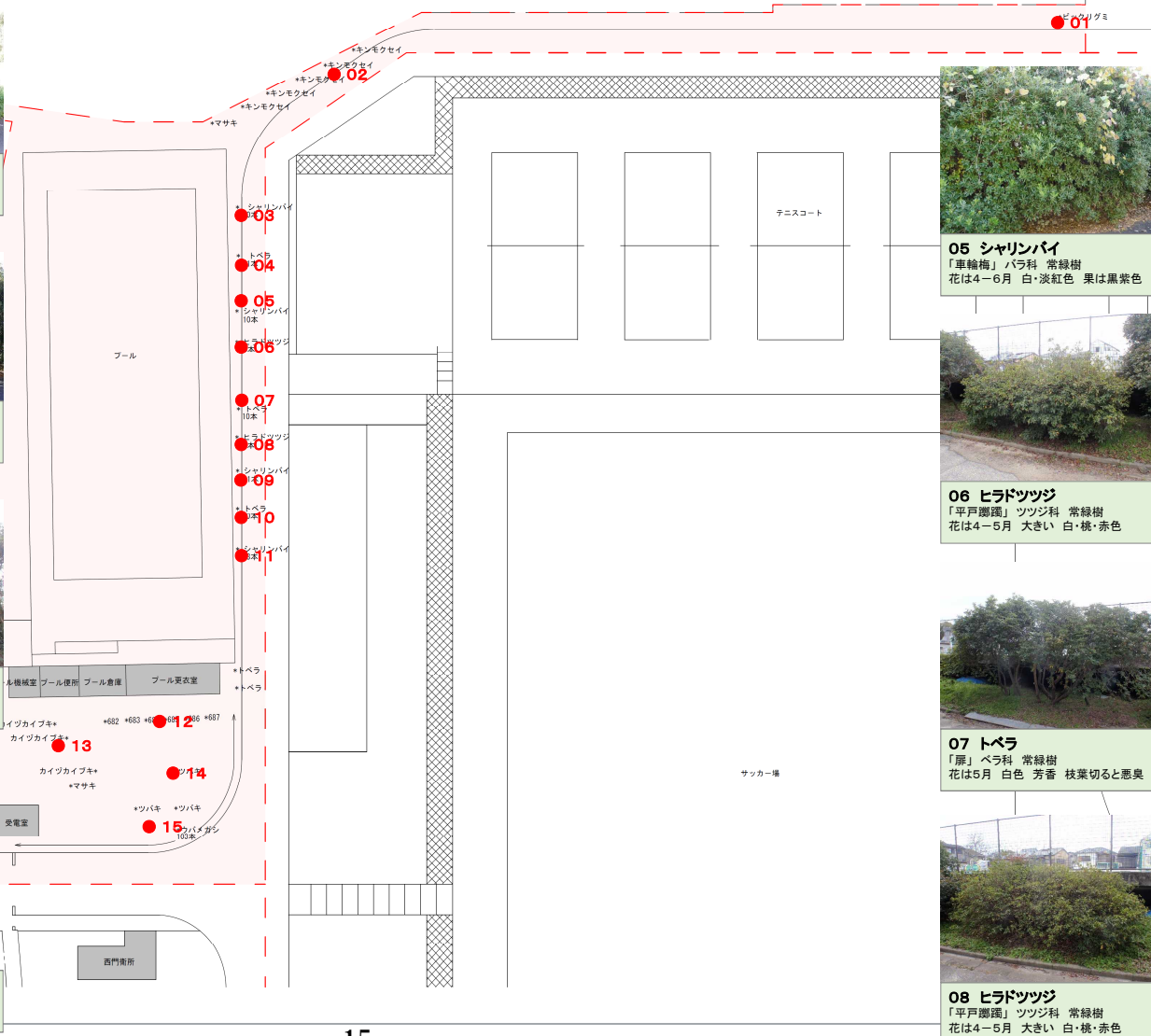
**10 トベラ**  
「原」ペラ科 常緑樹  
花は5月 白色 芳香 枝葉切ると悪臭



**11 シャリンバイ**  
「車輪梅」バラ科 常緑樹  
花は4-6月 白・淡紅色 果は黒紫色



**12 シラカシ**  
「白樺」ブナ科 常緑樹  
雄花は黄褐色 尾状花序 防雨・防火樹



**01 ビックリグミ**  
「吃驚茶葉」別名「ダイオウグミ」  
グミ科 落葉樹 花は4-5月 果は甘い



**02 キンモクセイ**  
「金木犀」モクセイ科 常緑樹  
花は秋 小さい橙色 雄株のみ 芳香



**03 シャリンバイ**  
「車輪梅」バラ科 常緑樹  
花は4-6月 白・淡紅色 果は黒紫色



**04 トベラ**  
「原」ペラ科 常緑樹  
花は5月 白色 芳香 枝葉切ると悪臭



**05 シャリンバイ**  
「車輪梅」バラ科 常緑樹  
花は4-6月 白・淡紅色 果は黒紫色



**06 ヒラドツツジ**  
「平戸躑躅」ツツジ科 常緑樹  
花は4-5月 大きい 白・桃・赤色



**07 トベラ**  
「原」ペラ科 常緑樹  
花は5月 白色 芳香 枝葉切ると悪臭



**08 ヒラドツツジ**  
「平戸躑躅」ツツジ科 常緑樹  
花は4-5月 大きい 白・桃・赤色

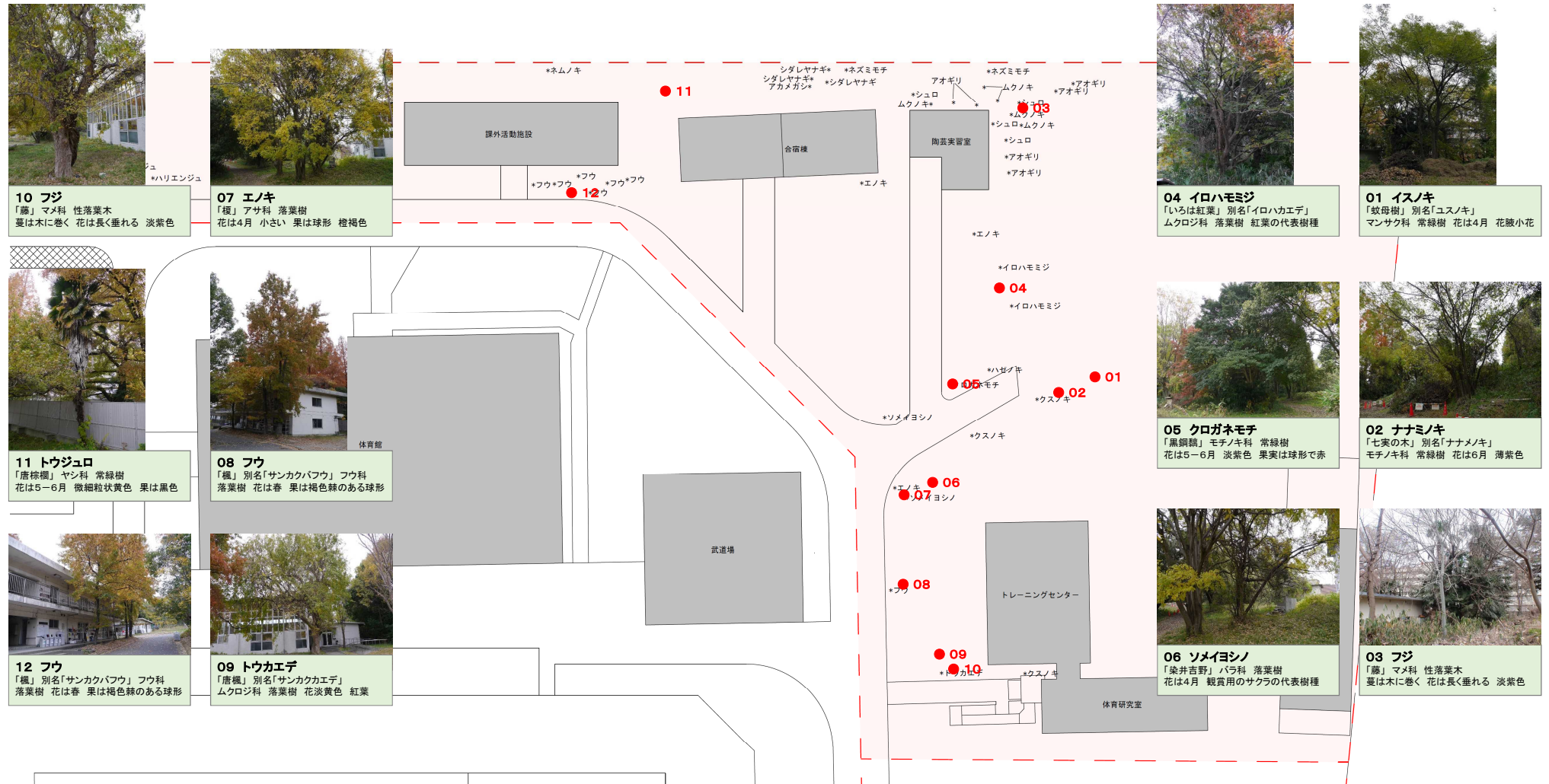


緑地の現状と課題(Fブロック)

Fブロック

緑の現状と課題

課外活動施設周辺や医療センターとの境界付近に若干の高木が生育するが、大きな問題はない。一方、本ブロック北東部の空き地に集積された大量の残土とトレーニングセンター・弓道場との間に広がる鬱蒼とした茂みの整備が不可欠である。



緑地の現状と課題(G-1ブロック)

Gブロック

緑の現状と課題

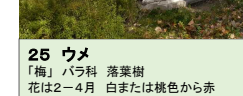
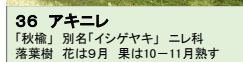
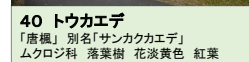
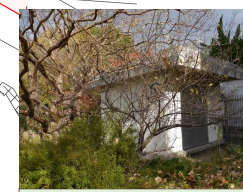
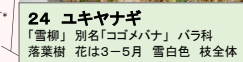
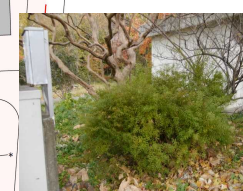
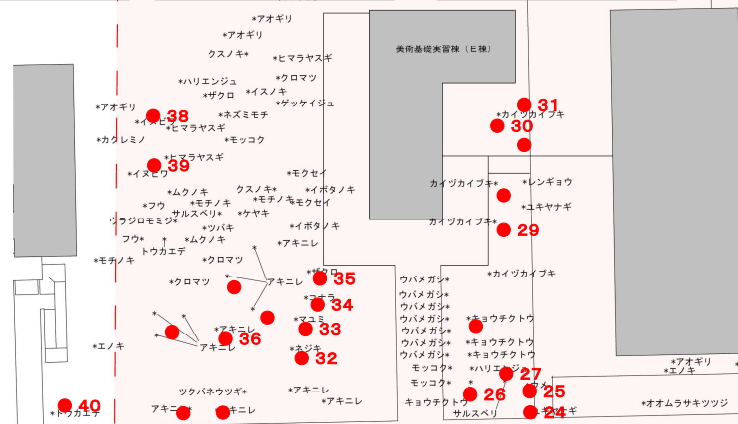
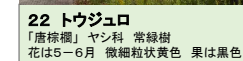
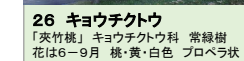
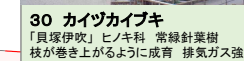
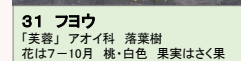
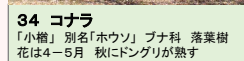
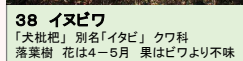
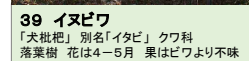
美術基礎実習棟北側の森は多様な樹木からなる森となっている。周回道路に面した部分は整備が進んでいるが、奥まった部分の枯死枝の除去や選別伐採などを整備する課題が必要である。また、民家との境界部分では具体的な植栽を進める 必要がある。





## Gブロック

美術基礎実習棟北側の森は多様な樹木からなる森となっている。周回道路に面した部分は整備が進んでいるが、奥まった部分の枯死枝の除去や選別伐採などを整備する課題が必要である。また、民家との境界部分では具体的な植栽を進める必要がある。



※ 28 キョウチクトウ, 37 クロマツは, 枯損のため欠番

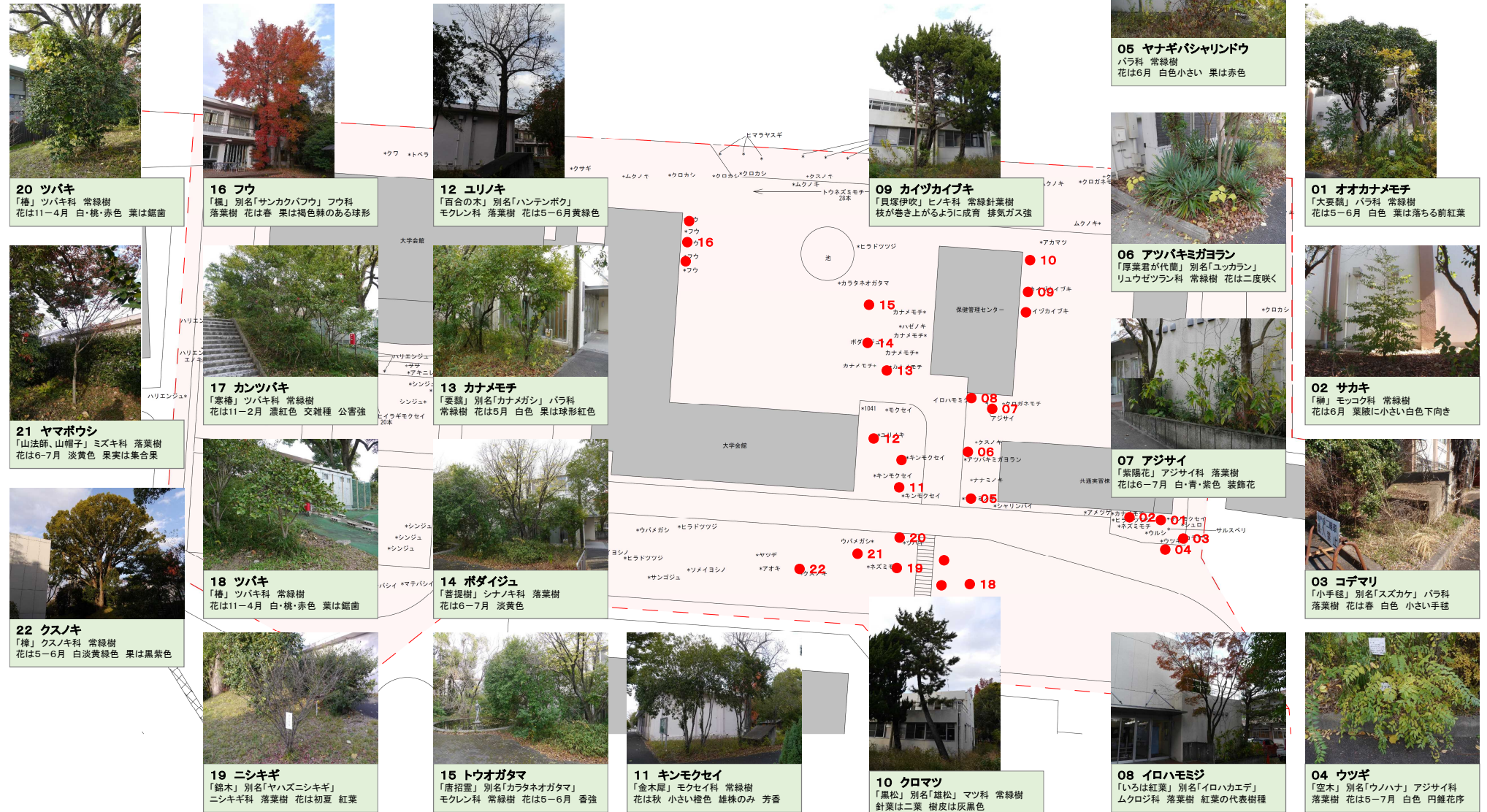


緑地の現状と課題(H-1ブロック)

Hブロック

緑の現状と課題

給水塔敷地周辺、本ブロック西側の斜面一帯、民家・寺に隣接する竹林には樹種・樹高ともに多様な樹木が生育しており、貴重な樹木も多い。場所の特性に応じた整備計画が必要である。竹林における地下茎の延伸対策は緊急の課題である。



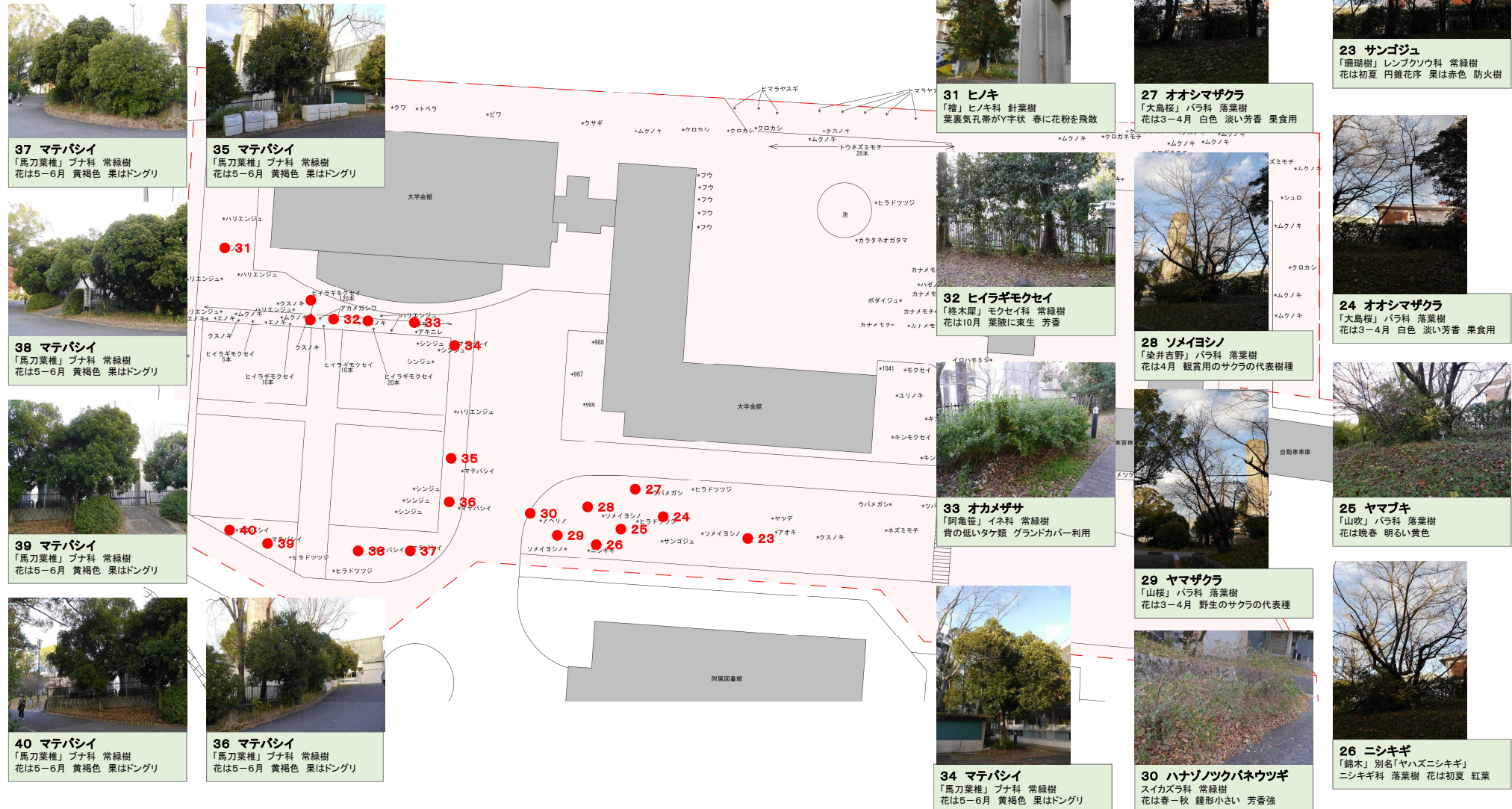
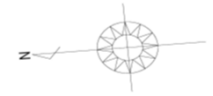


緑地の現状と課題(H-2ブロック)

Hブロック

緑の現状と課題

給水塔敷地周辺、本ブロック西側の斜面一帯、民家・寺に隣接する竹林には樹種・樹高ともに多様な樹木が生育しており、貴重な樹木も多い。場所の特性に応じた整備計画が必要である。竹林における地下茎の延伸対策は緊急の課題である。



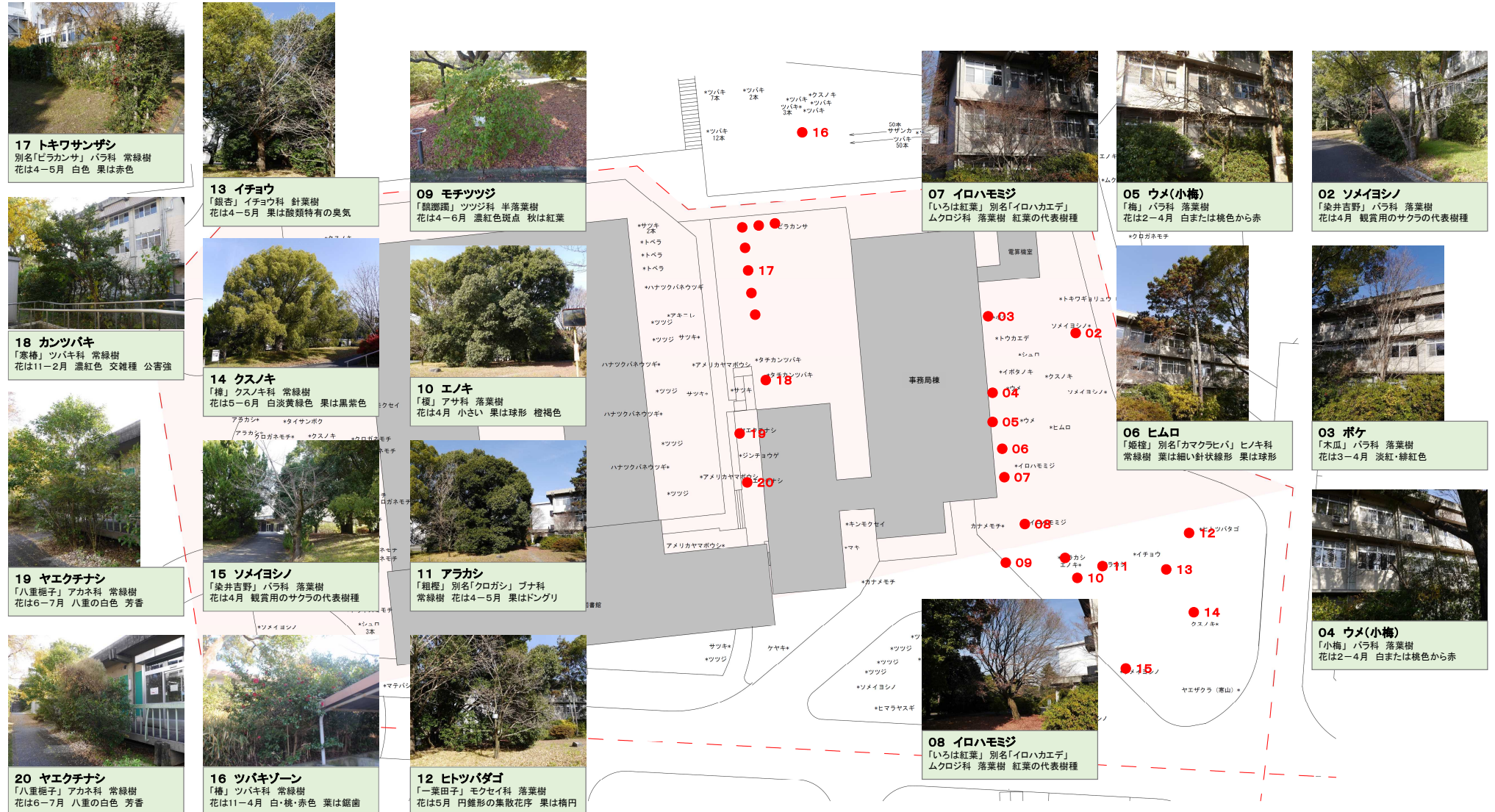


緑地の現状と課題(1-1ブロック)

Iブロック

緑の現状と課題

構内幹線道路に面したクスノキ、ヒマラヤスギなどの大樹の他、多種多様な植栽樹が配置されており、構内で最も主要なブロックである。一方、衰弱したソメイヨシノやサトザクラ(関山)等の更新や日照方向を加味した管理が課題である。



※ 01 トキワギョリュウは、枯損のため欠番



緑地の現状と課題(1-2ブロック)

Iブロック

緑の現状と課題

構内幹線道路に面したクスノキ、ヒマラヤスギなどの大樹の他、多種多様な植栽樹が配置されており、構内で最も主要なブロックである。一方、衰弱したソメイヨシノやサトザクラ(関山)等の更新や日照方向を加味した管理が課題である。



**38 マユミ**  
「檀弓」別名「ヤマニシギギ」  
ニシギギ科 落葉樹 花は小さく角張る



**36 マユミ**  
「檀弓」別名「ヤマニシギギ」  
ニシギギ科 落葉樹 花は小さく角張る



**32 ツバキ**  
「椿」ツバキ科 常緑樹  
花は11-4月 白・桃・赤色 葉は鋸歯



**39 ヒマラヤスギ**  
マツ科 常緑針葉樹  
雌花の松かさの形 成熟すると崩壊



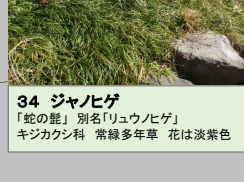
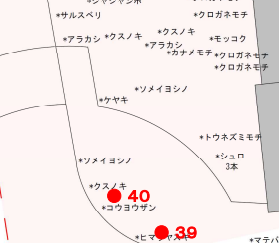
**37 スダジイ**  
別名「イタジイ」ブナ科 常緑広葉樹  
花は5-6月 黄色小型 虫媒花



**33 スダジイ**  
別名「イタジイ」ブナ科 常緑広葉樹  
花は5-6月 黄色小型 虫媒花



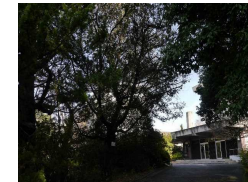
**40 コウヨウザン**  
「広葉杉」ヒノキ科 常緑針葉樹  
江戸時代後期に渡来



**34 ジャノヒゲ**  
「蛇の髭」別名「リュウノヒゲ」  
キンカクシ科 常緑多年草 花は淡紫色



**35 コバミツバツツジ**  
「小葉の三葉躑躅」ツツジ科 落葉樹  
花は3-4月 紅紫・淡紫色 多数咲き



**26 ウバメガシ**  
「鈍目樫」別名「イマメガシ」ブナ科  
常緑樹 備長炭の原料として利用



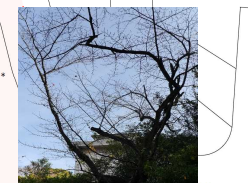
**21 ソメイヨシノ**  
「染井吉野」バラ科 落葉樹  
花は4月 観賞用のサクラの代表樹種



**27 サツキツツジ**  
「皋月躑躅」別名「エイサンコウ」  
ツツジ科 常緑樹 花は旧暦の5月一斉



**23 カイツカイバキ**  
「貝塚伊吹」ヒノキ科 常緑針葉樹  
枝が巻き上がるように成育 排気ガス強



**28 ソメイヨシノ**  
「染井吉野」バラ科 落葉樹  
花は4月 観賞用のサクラの代表樹種



**24 ノコンギク**  
「野紺菊」キク科 茎性  
花は8-11月 茎の先端花序は散房状



**29 ソメイヨシノ**  
「染井吉野」バラ科 落葉樹  
花は4月 観賞用のサクラの代表樹種



**25 ソメイヨシノ**  
「染井吉野」バラ科 落葉樹  
花は4月 観賞用のサクラの代表樹種

※ 22 ヒマラヤスギ, 30 ヒマラヤスギ, 31 ケヤキは、枯損のため欠番



緑地の現状と課題(1-3ブロック)

Iブロック

緑の現状と課題

構内幹線道路に面したクスノキ、ヒマラヤスギなどの大樹の他、多種多様な植栽樹が配置されており、構内で最も主要なブロックである。一方、衰弱したソメイヨシノやサトザクラ(関山)等の更新や日照方向を加味した管理が課題である。



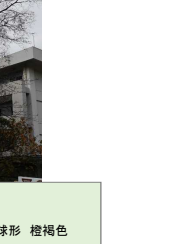
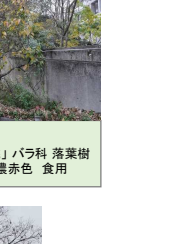
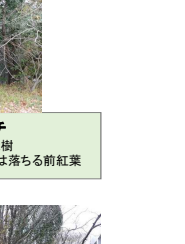
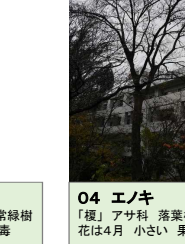
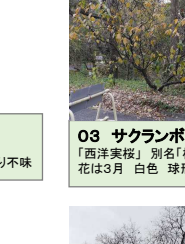
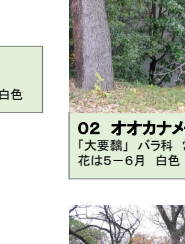
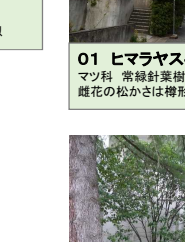
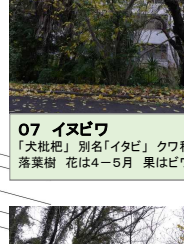
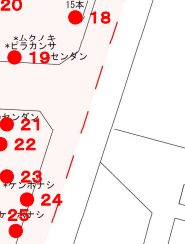
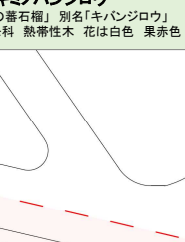
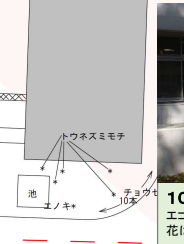
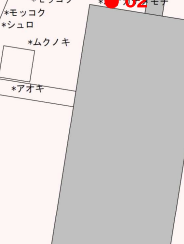
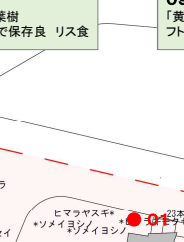
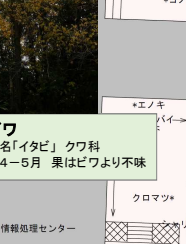
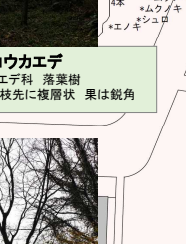
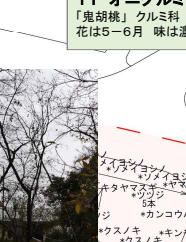
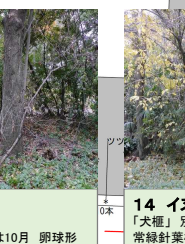
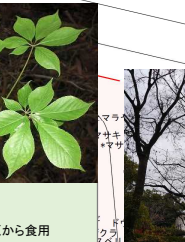
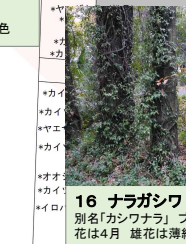
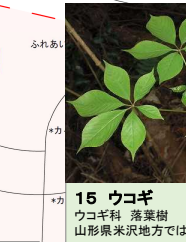
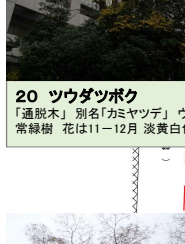
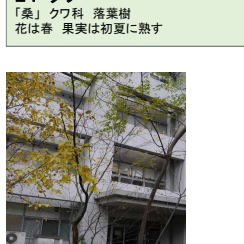


緑地の現状と課題(J-1ブロック)

Jブロック

緑の現状と課題

構内主要道路に囲まれた一角であり、最も多様な植栽がされているブロックでもある。チャンチンモドキやシンジュの成長に加え、侵入木の勢力が増し、周囲の植物に悪影響を及ぼしている。C棟東側部分の整備を含めた対策が必要である。





緑地の現状と課題(J-2ブロック)

Jブロック

緑地の現状と課題

構内主要道路に囲まれた一角であり、最も多様な植栽がされているブロックでもある。チャンチンモドキやシンジュの成長に加え、侵入木の勢力が増し、周囲の植物に悪影響を及ぼしている。C棟東側部分の整備を含めた対策が必要である。



**42 コノテガシワ**  
「側柏」ヒノキ科 常緑針葉樹  
花は3-4月 雌淡紫緑色 雄黄褐色



**43 キャラボク**  
「伽羅木」イチイ科 常緑樹  
花は春 肌色 枝は横に広がる



**45 サンショウ**  
「山椒」別名「ハジカミ」ミカン科  
サンショウの実には酸味のみ



**39 リギダマツ**  
マツ科 常緑樹  
日本では見られない三針葉の一種



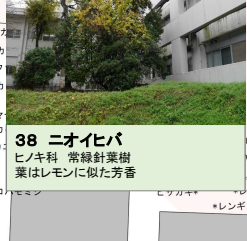
**40 クロマツ**  
「黒松」別名「雄松」マツ科 常緑樹  
針葉は二葉 樹皮は灰黒色



**41 カンレンボク**  
「草蓮木」別名「喜寿」ミズキ科  
落葉樹 花は夏季 淡白色



**37 ヤブツバキ**  
「藪椿」ツバキ科 常緑樹  
花は11-4月 赤色・白色



**38 ニオイヒバ**  
ヒノキ科 常緑針葉樹  
葉はレモンに似た芳香



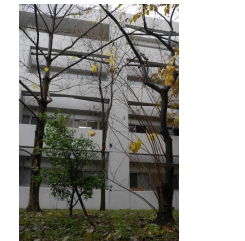
**34 エノキ**  
「榎」アサ科 落葉樹  
花は4月 小さい 果は球形 橙褐色



**30 モクゲンジ**  
「木患子」ムクロジ科 落葉樹  
花は6-7月 枝先に穂状 黄色



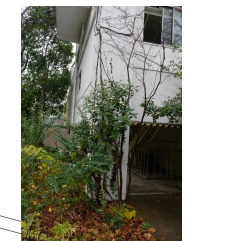
**31 セイヨウイボタノキ**  
「西洋水銀の木」モクセイ科 常緑樹  
花は6月 円錐花序 白色 芳香



**26 エンジュ**  
「槿」マメ科 落葉樹  
花は7月 白色 枝先円錐花序 蝶形花



**35 ドウダンツツジ**  
「灯台躑躅」ツツジ科 落葉広葉樹  
花は白色 紅葉は10-11月 真っ赤



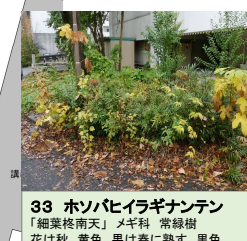
**32 イボタノキ**  
「水銀樹」モクセイ科 落葉樹  
花は初夏 白色 キンモクセイ似芳香



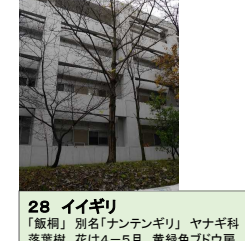
**27 キミノバンジロウ**  
「黄実の番石榴」別名「キバングロウ」  
フトモモ科 熱帯性木 花は白色 果赤色



**36 モモ(花桃)**  
「花桃」バラ科 落葉樹  
花は赤、桃、白色 観賞用として改良



**33 ホソバヒラギナンテン**  
「細葉終南天」メギ科 常緑樹  
花は秋 黄色 果は春に熟す 黒色



**28 イギリ**  
「飯桐」別名「ナンテンギリ」ヤナギ科  
落葉樹 花は4-5月 黄緑色ブドウ房

※ 29 トウジュロ、44 キクモモは、枯損のため欠番



緑地の現状と課題(J-3ブロック)

Jブロック

緑の現状と課題

構内主要道路に囲まれた一角であり、最も多様な植栽がされているブロックでもある。チャンチンモドキやシンジュの成長に加え、侵入木の勢力が増し、周囲の植物に悪影響を及ぼしている。C棟東側部分の整備を含めた対策が必要である。

※ 52 ウメは、枯損のため欠番



**64 ヒマラヤスギ**  
マツ科 常緑針葉樹  
雌花の松かさの樹形 成熟すると崩壊



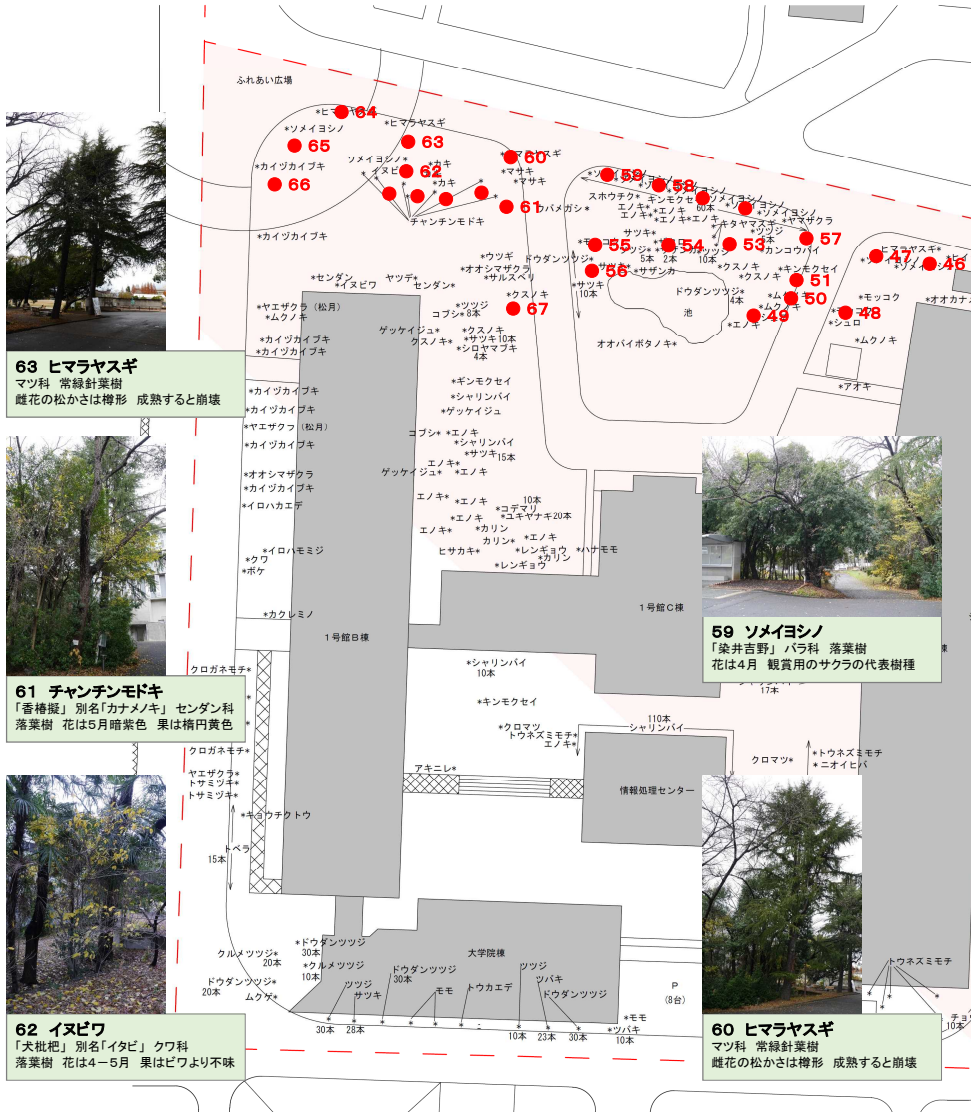
**65 ソメイヨシノ**  
「染井吉野」バラ科 落葉樹  
花は4月 観賞用のサクラの代表樹種



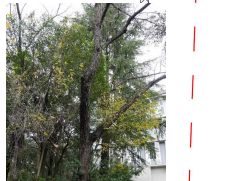
**66 カイツカイブキ**  
「貝塚伊吹」ヒノキ科 常緑針葉樹  
枝が巻き上がるように成育 排気ガス強



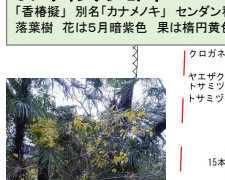
**67 クスノキ**  
「樟」クスノキ科 常緑樹  
花は5-6月 白淡黄緑色 果は黒紫色



**63 ヒマラヤスギ**  
マツ科 常緑針葉樹  
雌花の松かさの樹形 成熟すると崩壊



**61 チャンチンモドキ**  
「香椿樹」別名「カナメノキ」センダン科 落葉樹 花は5月暗紫色 果は楕円黄色



**62 イヌビワ**  
「大枇杷」別名「イタビ」クワ科 落葉樹 花は4-5月 果はビワより不味

**59 ソメイヨシノ**  
「染井吉野」バラ科 落葉樹  
花は4月 観賞用のサクラの代表樹種



**60 ヒマラヤスギ**  
マツ科 常緑針葉樹  
雌花の松かさの樹形 成熟すると崩壊



**55 モッコク**  
「木斛」モッコク科 常緑樹  
花は7月 黄白色 芳香 果は卵状球形



**56 ドウダンツツジ**  
「灯台薔薇」ツツジ科 落葉広葉樹  
花は白色 紅葉は10-11月 真っ赤



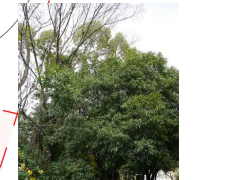
**57 ヤマザクラ**  
「山桜」バラ科 落葉樹  
花は3-4月 野生のサクラの代表種



**58 ソメイヨシノ**  
「染井吉野」バラ科 落葉樹  
花は4月 観賞用のサクラの代表樹種



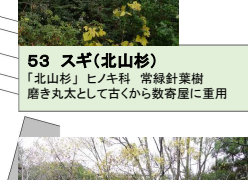
**50 シロヤマブキ**  
「白山吹」バラ科 落葉樹  
花は4-5月 白色 果は覆果 黒色



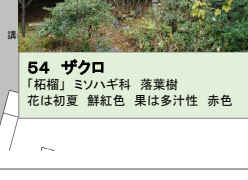
**51 キンモクセイ**  
「金木犀」モクセイ科 常緑樹  
花は秋 小さい橙色 雄株のみ 芳香



**53 スギ(北山杉)**  
「北山杉」ヒノキ科 常緑針葉樹  
磨き丸太として古くから数寄屋に重用



**54 ザクロ**  
「柘榴」ミソハギ科 落葉樹  
花は初夏 鮮紅色 果は多汁性 赤色



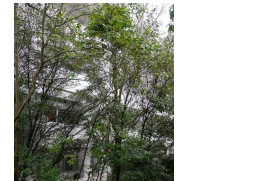
**49 イタヤカエデ**  
「板屋楓」別名「イタギ」ムクロジ科 落葉樹 花は4-5月淡黄色 果は異果



**46 ノコンギク**  
「野紺菊」キク科 茎性  
花は8-11月 茎の先端花序は散房状



**47 ソメイヨシノ**  
「染井吉野」バラ科 落葉樹  
花は4月 観賞用のサクラの代表樹種



**48 モッコク**  
「木斛」モッコク科 常緑樹  
花は7月 黄白色 芳香 果は卵状球形



**49 イタヤカエデ**  
「柘榴」ミソハギ科 落葉樹  
花は4-5月淡黄色 果は異果



緑地の現状と課題(J-4ブロック)

Jブロック

緑の現状と課題

構内主要道路に囲まれた一角であり、最も多様な植栽がされているブロックでもある。チャンチンモドキやシンジュの成長に加え、侵入木の勢力が増し、周囲の植物に悪影響を及ぼしている。C棟東側部分の整備を含めた対策が必要である。

※ 71 ユキヤナギ, 72 レンギョウ, 73 カリンは、枯損のため欠番



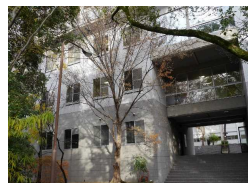
**88 ドウダンツツジ**  
「灯台脚躑」ツツジ科 落葉広葉樹  
花は白色 紅葉は10-11月 真っ赤



**89 ムクゲ**  
「木槿」別名「ハチス」アオイ科  
落葉樹 花は7-10月 白、紫、赤色



**90 モモ(花桃)**  
「花桃」バラ科 落葉樹  
花は赤、桃、白色 観賞用として改良



**91 トウカエデ**  
「唐楓」別名「サンカクカエデ」  
ムクジ科 落葉樹 花淡黄色 紅葉



**84 クロガネモチ**  
「黒鋼騎」モチノキ科 常緑樹  
花は5-6月 淡紫色 果実は球形で赤



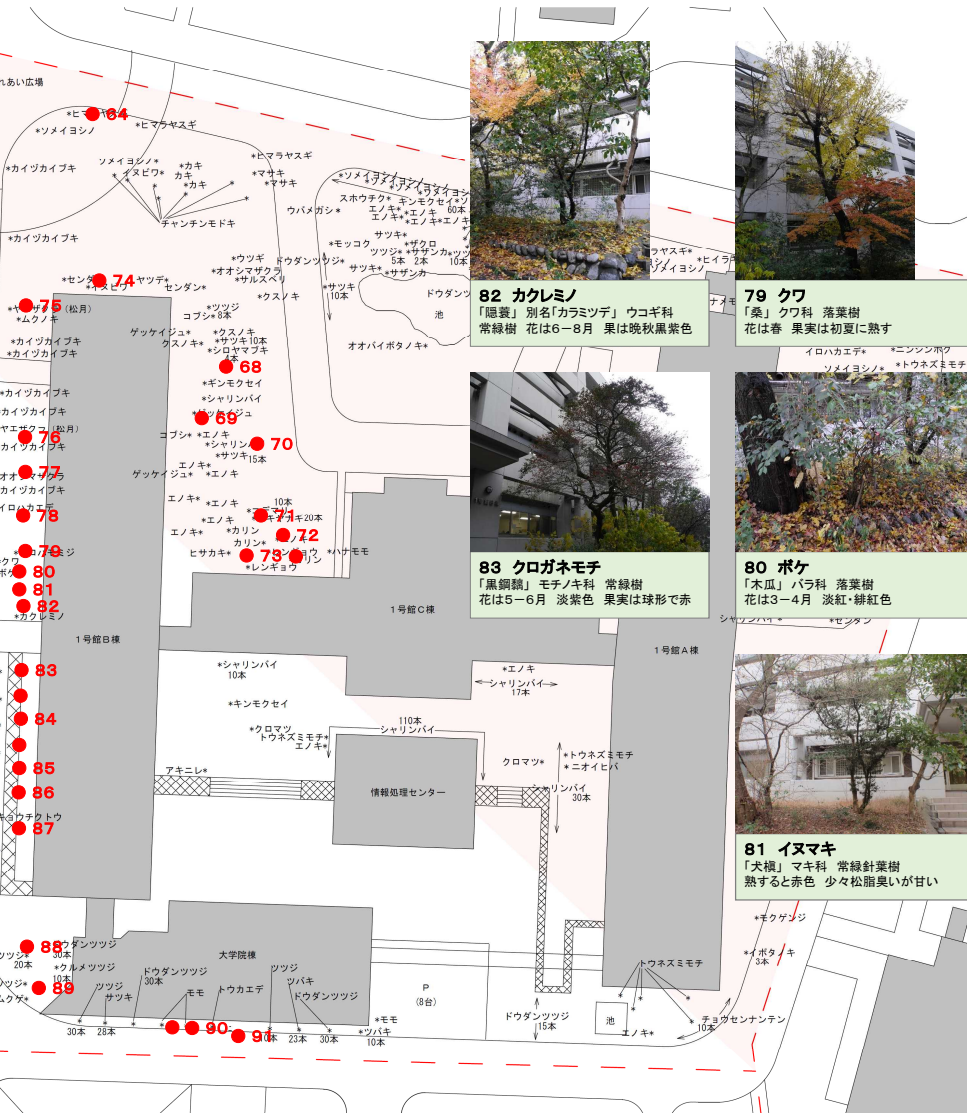
**85 サトザクラ**  
「里桜」バラ科 落葉樹  
花は4月 山桜に對し里での園芸品種



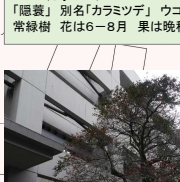
**86 トサミズキ**  
「土佐水木」マンサク科 落葉樹  
花は3-4月 淡黄色 葉より先に咲く



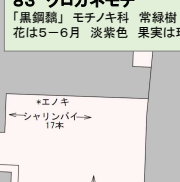
**87 キョウチクトウ**  
「灰竹桃」キョウチクトウ科 常緑樹  
花は6-9月 桃・黄・白色 プロペラ状



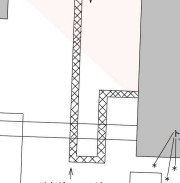
**82 カクレミノ**  
「隠襲」別名「カラミツデ」ウコギ科  
常緑樹 花は6-8月 果は晩秋黒紫色



**83 クロガネモチ**  
「黒鋼騎」モチノキ科 常緑樹  
花は5-6月 淡紫色 果実は球形で赤



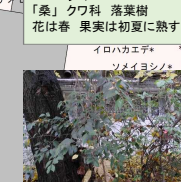
**80 ボケ**  
「木瓜」バラ科 落葉樹  
花は3-4月 淡紅・緋紅色



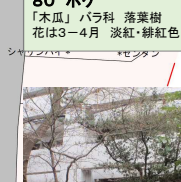
**81 イヌマキ**  
「犬槿」マキ科 常緑針葉樹  
熟すると赤色 少々松脂臭いが甘い



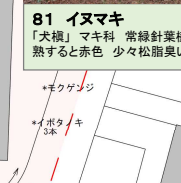
**79 クワ**  
「桑」クワ科 落葉樹  
花は春 果実は初夏に熟す



**76 サトザクラ**  
「里桜」バラ科 落葉樹  
花は4月 山桜に對し里での園芸品種



**77 オオシマザクラ**  
「大島桜」バラ科 落葉樹  
花は3-4月 白色 淡い芳香 果食用



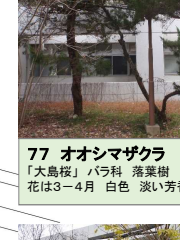
**78 イロハカエデ**  
「いろは紅葉」別名「イロハモミジ」  
ムクジ科 落葉樹 紅葉の代表樹種



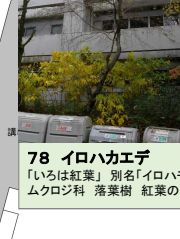
**75 サトザクラ**  
「里桜」バラ科 落葉樹  
花は4月 山桜に對し里での園芸品種



**76 サトザクラ**  
「里桜」バラ科 落葉樹  
花は4月 山桜に對し里での園芸品種



**77 オオシマザクラ**  
「大島桜」バラ科 落葉樹  
花は3-4月 白色 淡い芳香 果食用



**78 イロハカエデ**  
「いろは紅葉」別名「イロハモミジ」  
ムクジ科 落葉樹 紅葉の代表樹種



**68 シロヤマブキ**  
「白山吹」バラ科 落葉樹  
花は4-5月 白色 果は覆果 黒色



**69 ゲッケイジュ**  
「月桂樹」クスノキ科 常緑樹  
葉に芳香がある 古代から利用された



**70 フジ**  
「藤」マメ科 性落葉木  
蔓は木に巻く 花は長く垂れる 淡紫色



**74 ホノノキ**  
「朴の木」モクレン科 落葉樹  
花は6月 大型 白色淡黄色 芳香

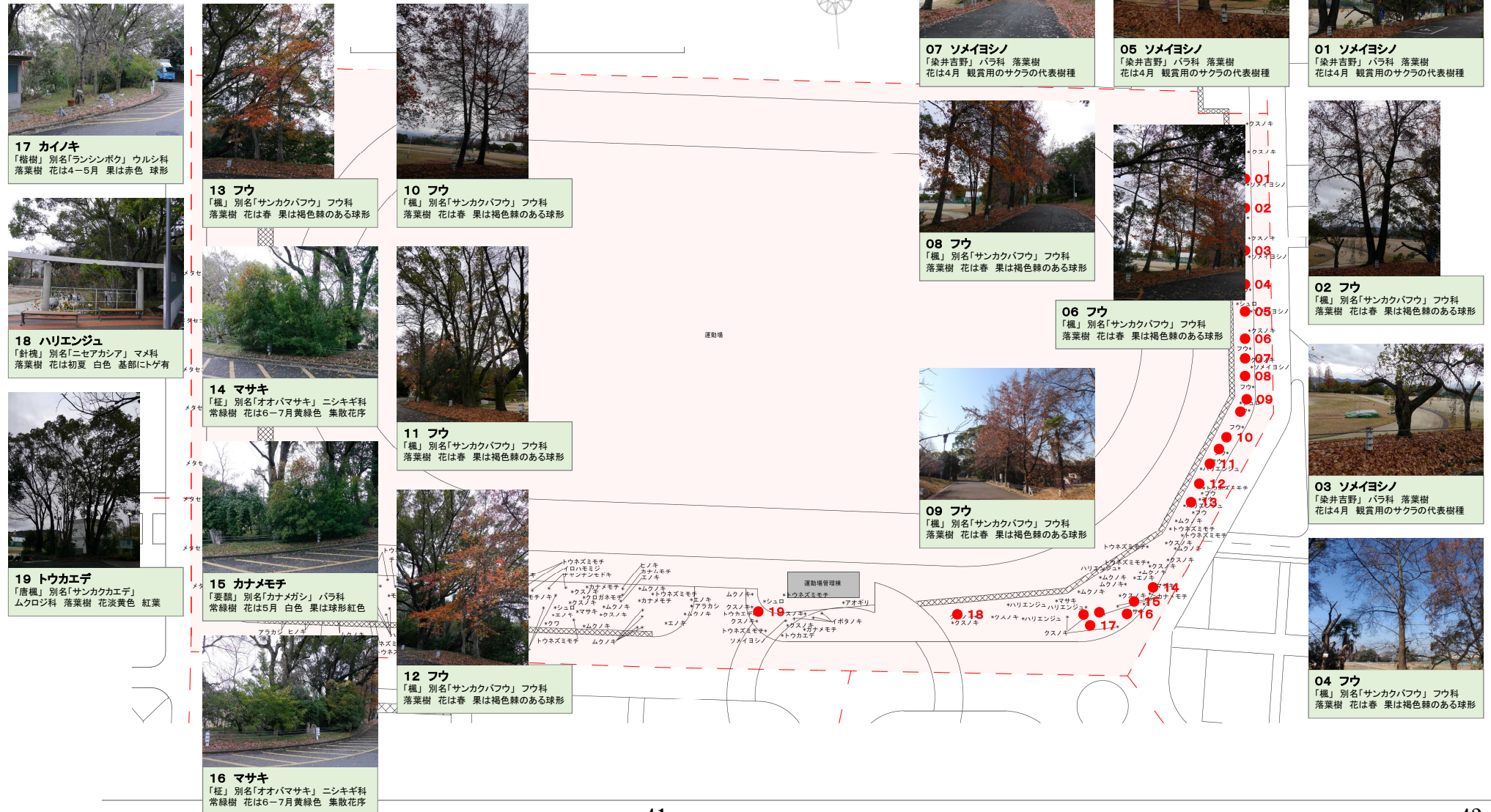


緑地の現状と課題(K-1ブロック)

Kブロック

緑の現状と課題

運動場東西の植栽樹(メタセコイア、フウなど)は比較的整備がなされているが、南側の雑木林は見栄えの悪い状態となっている。  
現存の良木を活かした整備が課題である。また南東側に自生するフジ(“藤森”の地名にふさわしい)を再生したい。





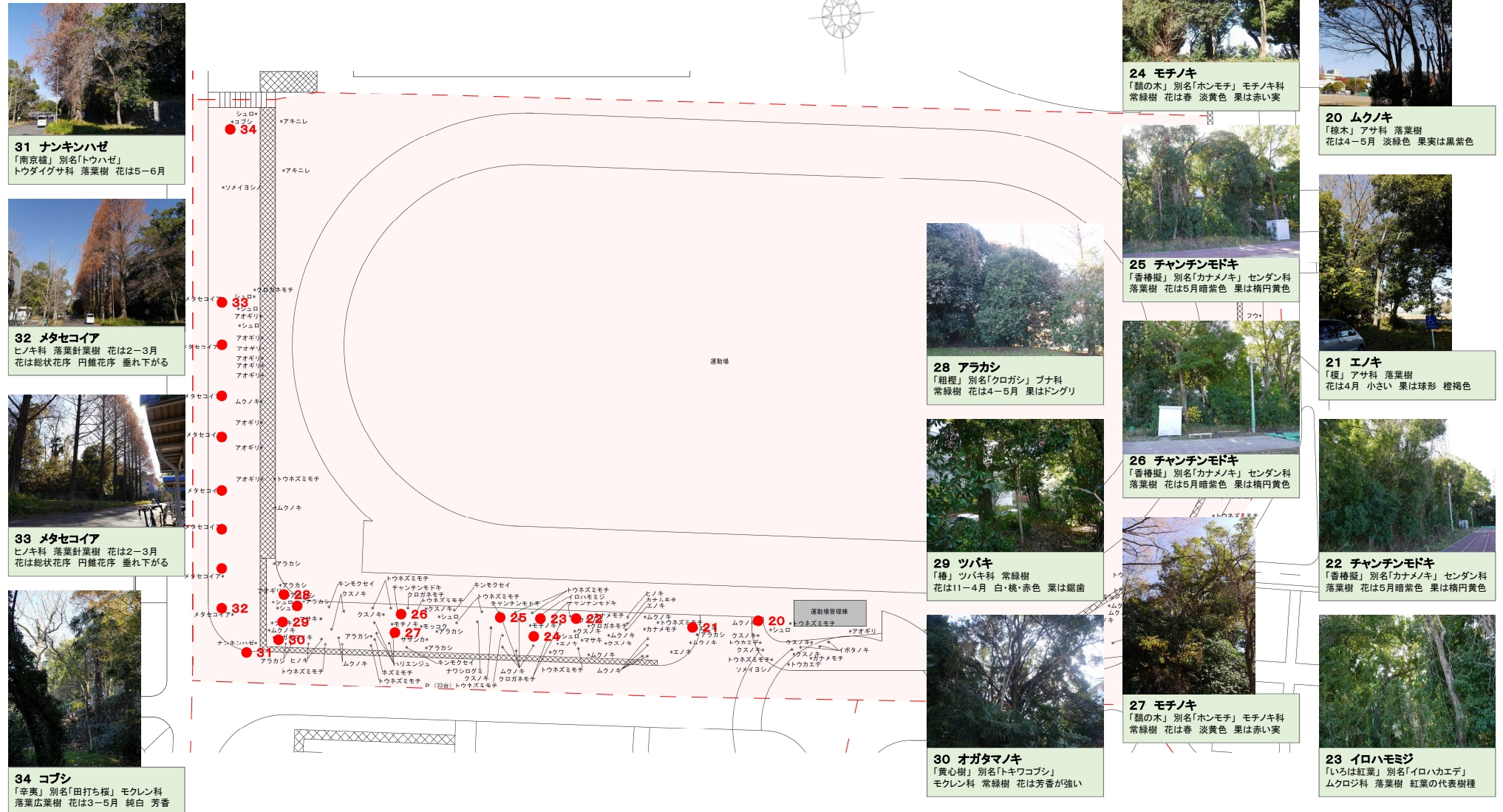
緑地の現状と課題(K-2ブロック)

Kブロック

緑地の現状と課題

運動場東西の植栽樹(メタセコイア、フウなど)は比較的整備がなされているが、南側の雑木林は見栄えの悪い状態となっている。

現存の良木を活かした整備が課題である。また南東側に自生するフジ(“藤森”の地名にふさわしい)を再生したい。



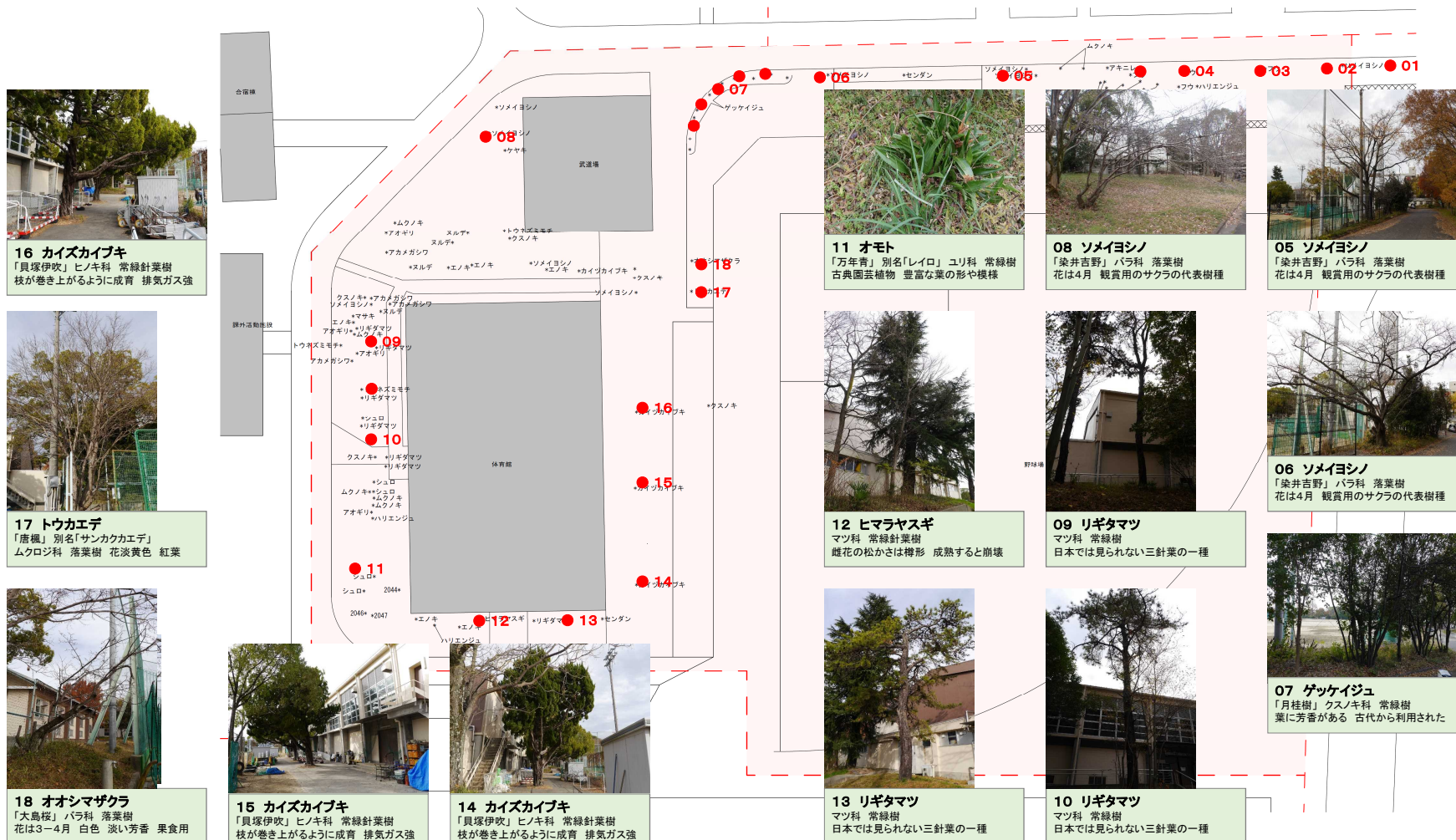


緑地の現状と課題(L-1ブロック)

L1ブロック

緑の現状と課題

本ブロック東側の並木(フウとソメイヨシノ)は比較的整備されているが、体育館周辺は大きな常緑樹(カイヅカイブキ、シュロなど)のために、薄暗い状態となっている。特に体育館北側の明るい雰囲気への転換が重要な課題である。





緑地の現状と課題(L-2ブロック)

L2ブロック

緑の現状と課題

本部ブロック北側のアラカシ並木は安定している。西側一帯は、里山的な雰囲気はあるものの、踏み入るのも難しい雑然とした状態である。ヤマモモ、ダイオウショウ、ラクウショウ、タイサンボクなどの有用樹を活かした整備が課題である。



**13 ヤマモモ**  
「山桃」別名「山桜桃」 ヤマモモ科  
常緑樹 花は3-4月 桃色 果は黒赤色



**14 アラカシ**  
「粗榧」別名「クロガシ」 ブナ科  
常緑樹 花は4-5月 果はドングリ



**15 アラカシ**  
「粗榧」別名「クロガシ」 ブナ科  
常緑樹 花は4-5月 果はドングリ



**16 ノドウ**  
「野葡萄」ブドウ科 性落葉樹  
果は熟すと光沢 青色・紫色 不味



**11 ダイオウショウ**  
「大王松」別名「ダイオウマツ」 マツ科  
常緑針葉樹 土壌を選ばずに成育



**12 アラカシ**  
「粗榧」別名「クロガシ」 ブナ科  
常緑樹 花は4-5月 果はドングリ



**10 シダレヤナギ**  
「枝垂柳」ヤナギ科 落葉樹  
花は春 暗黄緑色 尾状花序



**07 ケヤキ**  
「榊」別名「楓」ニレ科 落葉樹  
花は4-5月 葉が出る前に開花 紅葉



**04 メタセコイア**  
ヒノキ科 落葉針葉樹 花は2-3月  
花は総状花序 円錐花序 垂れ下がる



**08 ヤマザクラ**  
「山桜」バラ科 落葉樹  
花は3-4月 野生のサクラの代表種



**05 タイサンボク**  
「泰山木」モクレン科 常緑樹  
花は5-7月 葉の表面は光沢有



**09 ラクウショウ**  
「落羽松」別名「ヌマスギ」ヒノキ科  
落葉針葉樹 花は4月 果は緑色 球形



**06 クスノキ**  
「榊」クスノキ科 常緑樹  
花は5-6月 白淡黄緑色 果は黒紫色



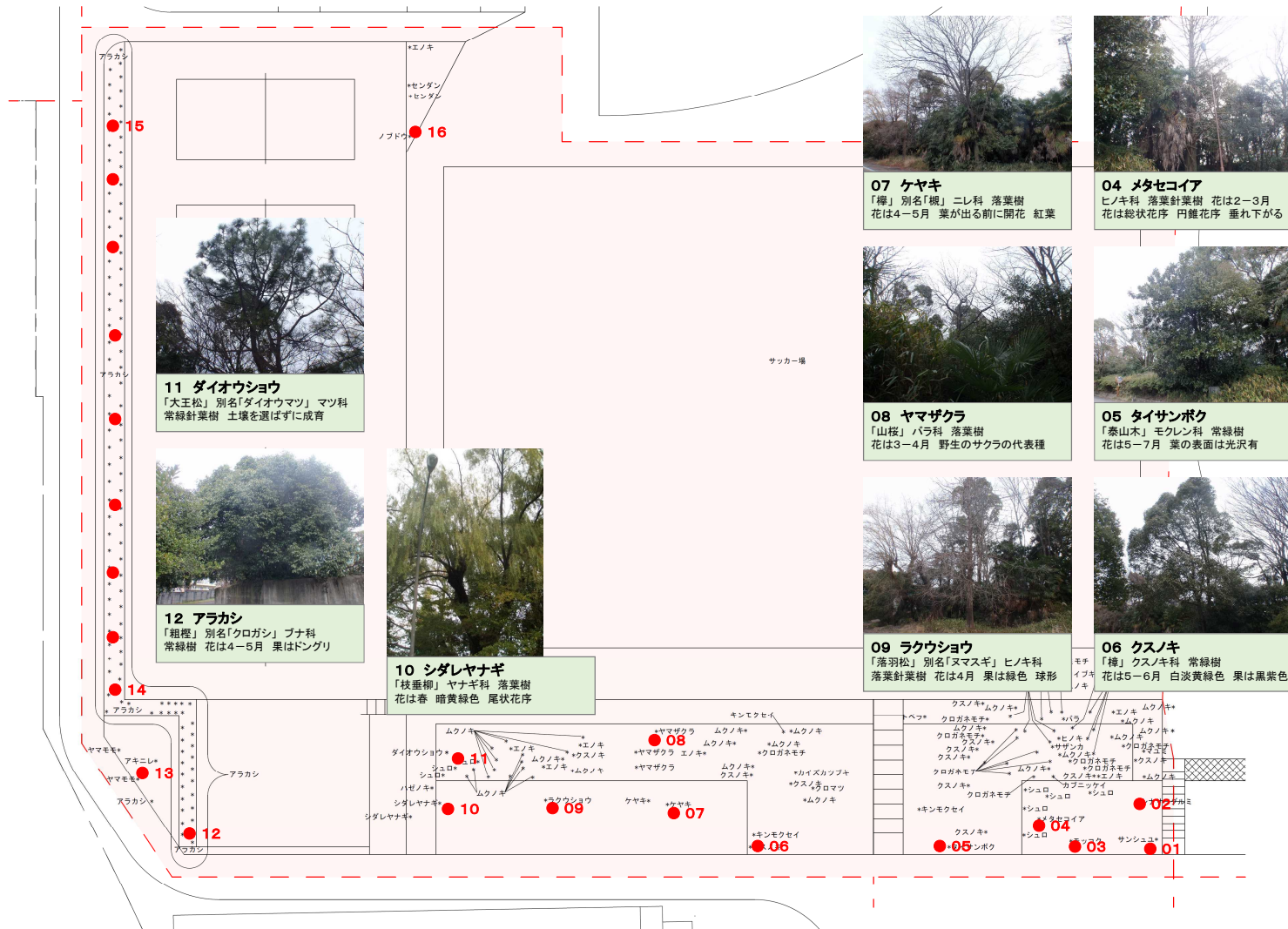
**01 サンシュユ**  
「山茱萸」別名「ハルコガネバナ」  
ミズキ科 落葉樹 花は鮮黄色 小花



**02 シナサウグルミ**  
「支那沢胡桃」別名「カンボウフウ」  
クルミ科 落葉樹 花は5月 黄緑色



**03 モッコク**  
「木斛」モッコク科 常緑樹  
花は7月 黄白色 芳香 果は卵状球形





緑空間を活用した教育研究環境と地域貢献・社会貢献

